

留 学 報 告 書

記入日:2019年1月7日

所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネブラスカ大学オマハ校 現地言語: University of Nebraska at Omaha
留学期間	2018年8月～2018年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Public Administration major, Education major, Sociology major, ESL <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年12月17日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8/20-12/14 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	15526
創立年	1908

留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	2,900	330,000円	
食費	900	100,000円	
図書費	160	18,000円	buy and sell group on face book を使い、120USD 節約した。 オンライン教科書はクラスメイトと割り勘して、20USD 節約した。新品で買う必要のあったが時間に余裕のあった教科書は amazon prime student (US)で注文し、5USD 節約した。 急ぎで必要な教科書は中古を学内書店で購入した。
学用品費	30	3,500円	ジェルインキボールペンは、2USD ほどする。(2本購入/学期) ノートは Walmart で買うと、太めの罫線のノートが1USDで買える。(2冊) (student center のノートは細目の罫線と私は感じた。) 因みに、私は現地で筆箱をなくした。これと関連するか分からないが、特にインターネットなどによると、日本産の筆記用具は書きやすく、貸したら返ってこないことで有名なので、よっぽど重要なものなどは絶対に貸さないでいただきたい。

教養娯楽費	30	15000 円	近くの映画館(akseben cinema)は火曜日だと6USDで見える。また、Halloween 期には、屋外型お化け屋敷やテーマパークが出てくる。他に遊ぼうとしたら、Omaha down town や south omaha の latino town や boy's town がある。College football league の Nebraska Husker's の試合を、車のある人に ride していただいて、州都 Lincoln にある Nebraska University at Lincoln のキャンパス内にある 10 万人収容の Memorial stadium に行き、観戦することを勧める。
被服費	100	10,000 円	近くにある GoodWill というドネーションの服飾を安価で売る古着屋のチェーンがある。 マフラーは 2USD、洋服は 5USD ほどで買える。Black Friday や Labor Day SALE では、Nebraska Crossing Outlet や West roads mall へ行くとおすすめ。またちよつとした服ならば Walmart で安く買える。 服を買った場所はそれ以外は無かった。
医療費	0	0 円	
保険費	150	180,000 円	形態:所属大学+留学先の保険
渡航旅費	—	280,000 円	お盆期に出発し、クリスマス期に帰国かつビザをもらえる時期が遅く、確実に行けるか分からなかったこともあり、7 月前半に買ったため高価だった。
雑費	500	60,000 円	
その他	40	47000 円	シェアサイクル代
その他	260	30,000 円	VISA 申請費(2 種類)
その他	160	20,000 円	予防接種と診断書
合計		1,083,300 円	

渡航関連

渡航経路:羽田→シカゴ→オマハ オマハ→シカゴ→羽田

渡航費用

チケットの種類	往復航空券
往路	—
復路	—
合計	280,000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

全日空公式サイトで購入 google flights で検索

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

On-campus dormitory("University Village(UV)")

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

Roomsync(大学から 6 月頃にメールで送られてくる web system)

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

もし可能ならば、明治大学に来ている UNO の交換留学生と友達になるといいと思います。そして、その方を通じて、現地でのホストマザーやルームシェアについての情報を教えていただくといいかもしれません。もし可能でしたら、私が教えることもできます。その場合、家賃は 1000USD/month を 2 人で分けて 500USD/month になるかもしないです。(寮は、700usd/month)

また、私の場合、一人で特に朝ご飯を寮で食べる事が多くて、少し大変でした。Roommates は、それぞれ予定が違いすぎて、なかなか顔を合わせる機会も多くなかったです。私の部屋のよかった点としては、どのルームメイトも細かいことは気にしすぎず、夜に音楽や電話等でうるさくしても特に大丈夫という点かもしないです。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

H&K という建物の Counseling Service を利用した。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

外務省の定期メールを確認していた。ネブラスカ州は共和党州かつ銃も(家で)個人の所持が許可されているので、危険なのではないかと偏見から自らハードルを上げていたこともあり、治安面では予想以上には安全と感じた。しかし、夜に south campus と north campus を繋ぐ素敵な Elmwood park 周辺を出歩くとレイプされるという話を聞いたので、情報として持っておくべきだ。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地で利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

UV は MyResnet という wifi がある。初日の設定で個人情報入力が多く、手間がかかった。また、iOS の update など大容量 DL の場合は図書館にある wifi の方が速いので、そちらをおすすめする。

私は節約のために、wifi のみで 1 semester を過ごした。しかし、USA の apple ID を作り、textfree という app で電話番号を取得できるし、skype を使って、電話もできることは知っておくべきだ。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

親から SONY BANK WALLET(debit card)に生活費を振り込んでもらっていた。クレジットカードは使いすぎる可能性があると言う懸念がある場合、この debit card を他の選択肢と比較した上で勧める。(私の家庭の場合、クレジットカードは、使いすぎる可能性があるため、不可能となった。) 現金生活という案もあった。国際教育事務室の担当者に相談し、アメリカでは地方都市のオマハであっても、現金生活はできるだろうと言われた。(何かある時に一人で考え込まず、先輩や事務室に「調べた上でこうだったのですが、ooですか?」と下調べした上で、質問するのは大事)しかし、現金を持ち運ぶリスクがあること、さらに手数料がかなりかかることも分かった。その結果、デビットカードとなった。短所としては、sony bank は不正利用された際の 1 件あたりの補償額が、およそ 50 万円ほどと(これでも実際かなり十分賄えるが)メガバンクのデビットカードの補償額の半額ほどだった。また実店舗がないのだ。(コールセンターもあり、web page も充実しているが。)しかし、当カードは ATM の引き下ろし手数料が毎月3回ほどまでは無料である。(メガバンクは 1 回目から有料)4 回目以降の手数料はメガバンクよりも安い。私は実際にどうしても現金支払いが必要な、ハロウィーンイベントのチケットを購入する際に現金引き下ろし手数料無料の恩恵を受けれた。(その他詳細については、webpage で確認していただきたい。)

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

布団等は現地の target や walmart で買える(8/31 頃まで待つと new year sale があり、\$15 くらいで買えた。)。洋服やタオル等は自宅から持っていくべきだと思う。また、日本土産を私は出発前に空港で買い、ルームメイトに渡した。割と喜ばれた。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路

- 就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

以下全て有用だが、3 年の秋学期の帰国した時点で有用な順に不等号で並べた。

外資就活、one career、@type 就活、就活会議、楽天みんな就、en-courage(各大学の内定生がメンターしてくれる兄弟発祥の全国 47 都道府県の大学に支部のある学生団体)>unistyle、キャリアパーク、iroots>リクナビ、マイナビ、帰国 GO ドットコム、マイナビ国際派就職>matcher>VISITS OB、ビズリーチキャンパス、ブンナビ、サポーターズ、キャンパスキャリア、CareerForum(Boston Career Forum に参加できなかったため、優先順位低)、ジョブテシオ、fact logic(For Consultancy)、Goodfind、Wantedly

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

私の強みである、異なる文化の人や国を結びつけられる仕事、若いうちから成長できる仕事、積極性や行動力を生かせる会社で働きたい。(海外売上高の高いメーカー、商社、金融、政府系機関、外資系等)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
 ※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学前は、周りの MARCH 文系生よりも早く、2 年の 1 月頃から就職を意識していた。
 就職の早期化もあり、親と留学する上で、就職準備を早めに始めることが条件であったからだ。実際に、2 年次に行ったインターン先からは、3 年夏と冬のインターンに招待して頂いた。また、インターンを受けることで、本選考も特別枠で受けることができる。早慶・東大京大・一橋東工大・ICU・東外大などには、現実問題、多くの限定セミナーが開かれている。そのため、彼らと一般的な MARCH 生では情報格差が生じている。そのため、2 年など早い時期から幅広く業界や会社を見ていくことは大事だ。また、実際にインターンに行き、私は、昼食代や時には交通費が浮くと行った実利面だけでなく、世の中がどう動いているか、どのようなオフィス・人・雰囲気や働けるか把握できたインターンシップもあった。そうした体験は非常に有意義で面白かった。とにもかくにも、様々な知見を広げていくことが大事だ。仮に挑戦してみても失敗したとしても、次に成功すればいいだけである。

また、インターンシップの選考は本選考と同じ流れであり、その流れを体験すること自体が、後に役立つ。そして、早期のインターンシップほど、他の MARCH 生がいない分、倍率は低くなりがちである。また、多くのインターンシップ(特に夏)では、MARCH は私だけで、他は東大京大、早慶や時には一橋大や東工大や上智大や筑波大が多く、決して、MARCH という特権があるとは言えない事にも気づく。(先ほど述べた「情報格差」然り、選考を通過する可能性然り)

余談ではあるが、留学中を通し、私自身の指向性にも変化が出てきた。具体的には、進路は他の人が考える一般的な就職という枠の中だけでなく、より英語で学びたいから海外の大学院へ行きたい、であったり、本質的にやりたいことは本当に、利益追及が第一目的である企業・private sector なのだろうか?と様々な考えた。また、留学先で、私自身の積極性・説得力・そして何よりこの2つを生み出せるだけの私自身への自信がついた。そして、帰国後もそれらはインターンシップ等でグループワークをしたりする上で、役立っている。

因みに、私は、12/17 の夜遅くに帰国し、次の日の 12/18 から 12/26 まで連続でインターンやジョブイベントへ参加した。(留学中にアプライした。half day や 1day のインターンやイベントでは ES 不要かつ先着順のものも多く、とりあえず興味のある企業に登録(entry)してマイページを作ったり、2)であげたような就活サービスに登録することを勧める。)

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

—

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

—

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

—

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 9 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ESL 1	ESL1
科目設置学部・研究科	College of Arts and Science
履修期間	8/20-12/14
単位数	3
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回
担当教授	James Vnuk
授業内容	主に Academic Writing をいかに身につけていくかを学ぶ授業。
試験・課題など	3週間に 1 度 essay の課題が出る。
感想を自由記入	academic English を学んだことがないなら取るべき。また、アメリカの授業自体はハードだったり、また 2 年生向けの 2000 番台の授業を私のように 2 つ取るならこのような基礎的な授業を入れておくことも大事だ。(最低 4 授業を取る必要があるため。)

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	College of Arts and Science
履修期間	8/20-12/14
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Oynlade
授業内容	社会学をジェンダー、文化という視点や、基礎的な理論をもとに学んでいく。
試験・課題など	2週間に 1 度 web 上でテストがある。1 ヶ月に 1 度小まとめテストがある。
感想を自由記入	<p>正直に言って、この先生の社会学については生徒がどんどん(先生の話途中で遮って)手をあげて発言していくのが普通の授業で、面白い。逆に最初はディスカッションのスピードについていけなかったが、私も積極的に手をあげることで話全体の文脈もつかめし、スピードが早くてもキーワードから理解もできるしついていける。</p> <p>この授業を受けて、積極的に挑戦するスタイルを身につけるいい授業かもしれない。</p> <p>また、1000 番台であり、オンラインテスト のみなので、私のように 2000 番台を2つ取る生徒にとっては、戦略的に考えて、このような授業の存在も必要だ。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Leaderships and Administration	リーダーシップ論
科目設置学部・研究科	College of Public Administration
履修期間	8/20-12/14
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Megan McGaffy
授業内容	リーダーシップの類型論を学ぶ。
試験・課題など	1ヶ月に一度試験がある。期末課題がそれに加えてある。
感想を自由記入	<p>この授業は、非常に面白い。少なくとも、日本ではリーダーシップについて典型的に学ぶ機会がなさそうなら、なおさら面白いと思う。無意識的にカンファエるいわゆるカリスマのようなリーダーシップはあくまで一握りで、世の中には本当に様々なタイプのリーダーシップがあることが学べるだろう。</p> <p>この授業についてより詳しく知りたかったら私に連絡してほしい。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Human Relations	民族関係論
科目設置学部・研究科	College of Education
履修期間	8/20-12/14
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Franklin Thompson
授業内容	義務教育過程における、ヒスパニック、ムスリム、アジア系、ユダヤ系、LGBT、障害、宗教の課題を学ぶ授業。
試験・課題など	中間試験と期末試験+各チームのテーマに関する発表とレポート
感想を自由記入	<p>中間と期末試験は、Quizlet というサイトを参考にすると良い。(それぞれ、100 問の選択肢の問題と 5 枚ほどの writing による home portion test があ理、つまりかなり大量だ。)</p> <p>私が唯一の留学生で、唯一のアジア系であった。私自身が主張をしないと特に授業で当事者としてのアジア系や Japanese や Chinese などの議論がより現実的、建設的なものにならない。コミットメントが必要だ。</p>

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	TOEIC IP TEST 815点 香港へ10日間旅行
4月～7月	11月のゼミと留学の選考のためGPA上昇に全力をそそぐ。
8月～9月	TOEFL iBT お試し受験。(64)
10月～12月	11月 交換留学書類提出 12月 交換留学面接 12/25 協定校留学落選通知
2018年 1月～3月	1月上旬 枠の増加により、UNOに決定。 トビタテ奨学金応募 1月頃 トビタテ書類通過→2週間後に面接 2月頃 トビタテ合格通知 3月:Oh-o meiji 経由で UNO の出願資料到着
4月～7月	サークルの新歓やゼミのプロジェクト責任者。 授業は7つ受講。 4/15までに、約8000ドルの財政証明をUNOに提出。 5月 受け入れ許可証が UNO から明治の国際事務室に届く。それをもとに、寮、ビザ、保険、授業、抗体証明書の主に5点を申し込む。 その他現地で使うデビットカードとか飛行機手続き。 7/31:期末終了
8月～9月	8/14 出発 ↓オリエンテーション 8/20 授業開始
10月～12月	12/14 授業終了 12/17 帰国 12/18~インターンシップ(留学中に先行なしの1日を中心に申し込むべき。)
2019年 1月～3月	インターンシップ
4月～7月	就活終了予定。
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	留学をすることで自己成長をしようと思ったためです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>留学前にしておいてよかったことは留学生との国際交流だと思います。</p> <p>キャンパスメイト(和泉キャンパス)やGJSCC(中野キャンパス)はご存知だと思いますが、global navi という雑誌に書かれている、グローバル教養科目等を各キャンパスで受けたり、他にも公認サークルの教養英語会 Meicom という新しい英語×国際交流のサークルのイベントに参加したり、多くの留学生と接点を持つことは大事でした。そういう意味でも現地に着いた時点で私は会話レベルの英会話については問題なく自信を持っていました。</p> <p>逆に向こうに行って気づいたことは、Academic English 特に、Academic Writing にもう少し親しんでおけばよかったなと思ったことです。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>UNO はまずアメリカにあり、派遣人数も多かったからです。副次的な理由からすると、白人中間層が多く共和党州での生活を通して、(ニューヨークやカリフォルニアと言ったいわゆる大都市・移民の街とは違い)「よりその他大多数のアメリカ」の生活というのを経験できるのではないかと思ったからです。それらの2地域と比べて、制度等が進歩していない中で、ありとあらゆる民族がどのようにサポートされている仕組みがあるかを知りたかったこともある。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>現地へ行って気づいたことだが、オマハはクリントンさん・民主党に入れた都市です。(共和党のネブラスカ州にありながら唯一。) UNO の pre-law major の学生曰く、大学自体もリベラルに少し偏っているとされるようでした。日本人だからということで racism から大きな問題を抱えることは全くなかったです。しかし、中国人や韓国人と比べて日本人は良いと言われたことがありました。このように、これは micro aggression に繋がるのではないかと思われる発言は散見されました。また、1 学期しか滞在せず、-10 度が毎日の週末ある 12 月の半ばに革のジャケットを貸してくれた現地の友人がいたり、“midwest nice”や“Nebraska nice”と言われる人の優しさがあることを知りました。私自身、共和党かつトランプ氏を選んだ州であり、外国人に対して厳しいと予期していたこともあり、予想外の結果でした。</p>
寮の雰囲気	<p>UV では、毎週の土曜日にイベントが開かれる。</p> <p>また、Building 1-7 まであり、私が割り当てられた Building 6 の Residence Assistant が非常に良い人で、相談にも色々乗りあえる存在であり、非常に恵まれていた。(因みに寮のこの building に住みたいという希望は確か自分では選べない)</p>
交友関係	<p>過去の先輩たちの留学報告書を出発前に読みました。驚いたことに、「最初の1ヶ月はもう少し積極的に English speakers に話しかければ良かった」と書かれていました。そのため、私は意識して最初から多くの友達を作りました。</p> <p>また、Sakura Japan Festival at UNO により、かなり忙しくなり、それに関連するような友人に偏りがちになってしまいました。当初作った特に世界中の留学生との関わりは少し薄くなってしまいました。また、オマハには交換留学生は 100 人ほどしかいません。しかし、現地に 4 年間いる生徒や、アメリカに移住してきた、オマーン人やサウジアラビア人、モン民族、カレン民族、ソマリア人、中国人、ラテン系、アフリカ系、さらに LGBTQ や disability や社会人や母親など多様な学生がいるので、期待するべきです。しかし、あくまで自ら積極的に関わることも大事です。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>友人によっては私自身の英語が伝わっていない時があり、大変でした。結論から言うと、代名詞を使わない、主語や目的語などをはっきりと明示させることが大事です。さらに、日本語と違い、短く簡潔に言わなくても良い。それよりも、長くても良いから、しっかり大事なポイントを明示させるのが大事と言われて、それを元に取り組みました。</p> <p>また、最後の最後にプレゼンテーションが一つの授業でありました。そこで、人の目を見て、反応を確かめながら、私の声量を文の最後まで途切れないように出し切ることが大事だ等と多くの気づきがあり、人に伝わりやすい話し方ができるようになりました。</p>
学習内容・勉強について	<p>私は主に、様々な民族がどのような状況に置かれ、どのような問題を抱えているかに興味がありました。そのため、真っ先に民族関係論の授業を取りました。</p> <p>次に、academic English への慣れがなかったため、ESL をとっておくことにしました。(さらに、アメリカの授業がハードというイメージがあり、その上に、2 年生向けの授業を 2 個取るため、ある程度基本的と思われる授業を入れたかったという理由もありました。)</p> <p>さらに、リーダーシップ論については、留学前のインターンシップを通し、またゼミやサークルでのリーダーシップ経験を通し、リーダーシップについて、どのようなタイプがあるか全体像を見たかった、またアメリカにおけるリーダーたちから刺激を受けたいと思いこの授業を受けました。</p> <p>最後に、Introduction to Sociology はリーダーシップ論や民族関係論といった授業を取る上で、基礎科目となる社会学入門を履修することにしました。</p>

課題・試験について	<p>課題量は、ESL1、民族関係論は1ヶ月・約4週あるうちの3週、leadership 論や社会学入門は、毎月テストがありました。 また、詳細は第1週の授業に行くまで分からないです。そのため、第1週まで、少し多めに履修しておくことを勧めます。</p>
大学外の活動について	<p>毎週土曜日に、UV に 8:30AM 集合で、15 分かけて、オマハ日本語補習校へ行き、ボランティアを 11 月までしました。 私自身、私の興味のある分野についてのインタビュー活動を 11 月からしたため、しっかりと生徒たちとお別れをできず帰国に至ってしまったのは心残りなことでした。</p>
留学を志す人へ	<p>アメリカを留学先で勤めるかどうかということについてですが、NY や California は非常に物価が高いと聞きました。一方で、NY については、公共交通機関が発展しているので、車がなくても生きていけるはずですが。しかしながら、L.A.や中部などは車社会のため、正直に言って車がないものすごく不便です。 また繰り返しにはなりますが、オマハに関しては、日本並みに治安面で良いです。現地の方は図書館のトイレに行く際に Laptop を机の上に置きっぱなしなのは驚いたし、現地人でない人としてはそのようなことは避けるべきです。しかしながら、安全な一つの目安となると思いついておきます。もしあなたが初めてのアメリカへの長期滞在であれば、オマハを選択肢に入れておくことは、大げさですが生命の安全な場所で留学ができるという点を保証することにつながると思います。人についてもフレンドリーで優しくこちらから話せば協力的な人が多いです。</p>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中						volunteer	
	授業	UV	授業	UV	UV	volunteer	自由
午後	UV	UV	UV	UV	UV	UV	自由
	授業	授業	授業	授業	自由	図書館	自由
夕刻	図書館	図書館	授業	図書館	sakura festival meeting	自由	自由
夜	図書館	図書館	授業	図書館	自由	自由	自由



立ち上げをした sakura festival の運営メンバーの写真



UNO の 21 歳以上の友人で行った、ダウンタウンにあるゲイバー。
ものすごいカジュアルな場所で、興味深かった。
21 歳以上のオマハの遊ぶ場所で最もいい場所らしいということがこのゲイバーということで、オマハ市の寛容さがある
種体现されたような場であり、面白い。



世界一の投資家、Warrant Buffet 率いる、投資銀行 Barksher Hathaway の入るビル。Warrant Buffet は世界トップ5の資産家だが、スバルの中古車に乗り、一般的な家に住み、また事業利益の多くを社会貢献に使う彼のアイデンティティがここにもにじみ出ている。因みにこのビルに関しては、地元最大不動産会社のビルのテナントとして入居しており自社ビルでは無いことからそのアイデンティティが読み取れるのではないかと。



オマーン政府国費留学生が多く、日常的に彼らと交流できる環境は貴重である。
ちなみに、この日のオマーンフェスティバルのような儀礼を除き、彼らはこれらの服を着ていないようだ。



かつて明治大学に交換留学に来ていた UNO 友人には多くお世話になりました。